

【茶】の【台風】対策について

<9月>

農業経営支援課

(1) 予想される被害状況

- ・ 茶園の冠水、潮風害の発生。
- ・ 幼木の倒伏、落葉。
- ・ 製茶工場の損壊。

(2) 事前対策

- ・ 幼木園では防風ネットを設置し、株元やマルチ資材への土寄せにより、茶株の揺れやマルチのばたつきを防止するとともに、排水対策を行う。
- ・ 2～3年生の茶園では、徒長枝を整せん枝する。
- ・ 製茶工場（煙突、屋根、雨とい、窓等）の点検・整備・補強を行う。

(3) 事後対策

- ・ 風雨による倒伏や地際部に損傷を受けた幼木園では、株元やマルチ資材への土寄せ、補修を行う。
- ・ 降雨が少なく、海からの風で塩分が付着したとみられる茶園では、できるだけ早くスプリンクラー等で散水（5mm以上）し塩分を除去する。
- ・ 強風により葉の損傷を受けた茶園では殺菌剤を散布する。
- ・ 滞水・浸食部分の速やかな排水処理と改修を行う。